

現場の失敗と
その反省
X-6

コンクリート養生での失敗

工事は農業用水路工事（現場打3面水路 L=150m、H=1.5m）で、農繁期が終わり、用水使用が終了した時点からの着工となりました。既設水路を取り壊し、水路底版部の型枠、鉄筋施工後のコンクリート打設の時期には外気温も下がり、寒中コンクリート打設のため、寒中養生が必要になり、練炭養生の準備をいたしました。コンクリート打設終了後、ブルーシートにて打設箇所を覆い練炭を設置しその日の作業は終了となりました。

翌日、養生の状況と練炭の取り替え、又一酸化炭素中毒にも注意しなければならな

いので計測器を持参し、現場に行ったところ、覆っていたブルーシートが練炭養生部分の広い範囲で溶けており、ブルーシートが練炭により溶けてしまったと思われます。

その日はそれほど気温が低下しなかったのですが、型枠解体後の7日目にシュミットハンマーで計測したところ、強度的には問題ありませんでした。

練炭に無造作にブルーシートを掛け、練炭との間隔まで注意せず作業を怠った為に起きた失敗です。